

来年 さらに さらに さらに さらに さらに 色鮮やかな 多くの花が 咲きますように

総勢52名！が盛り上げる

—— 2020 カキツバタ環境保全ボランティア活動

新型コロナウイルス感染拡大で危ぶまれた今年のカキツバタボランティア活動。愛知県の2回目の非常事態宣言の解除を受けて、刈谷市文化観光課から、コロナと熱中症に配慮しながら実施すると連絡があり、イデキューも参加を決定し、出光さんをはじめ関係する皆さんにも案内を出したところ、4日間で52名が集まり、一緒に、作業に汗を流しました。

コロナ禍のなか、今年は参加を取りやめるボランティアも多くあり、イデキューグループの参加は、「守る会」の皆さんから大歓迎を受けました。

今年はじめての取り組みとして、社外の初参加者が11名いたため、グループの目印として緑色のリボンを配り、巻いてもらいました。また、コロナ対策のため、自主的に集合場所で全員の検温を実施し記録することも行いました。

また、今年がイデキューのボランティア参加20周年になるのを記念して、オリジナルのキャップとマフラータオルを作り、作業終了後、参加の皆さんに贈呈しました。

1938年（昭和13年）に天然記念物の指定を受けてから82年。途中、戦争で放置された時期があり、絶滅させてはいけないと、地元の皆さんによる現在の守る活動が始まってから59年。その長い歴史の中で、私たちが、ささやかなお手伝いをしてきたといっても、わずか20年。われわれが続けることはもちろん、多くのボランティアの皆さんとともに、これをつないでいくことが大事です。

一口に「小堤西池のカキツバタ群落」の環境保全活動といますが、ここは日本一の規模を誇る天然記念物のカキツバタ群落。言ってみれば「絶滅危惧種」である天然記念物を守る活動のお手伝いをしていると思うと、やりがいと使命感を覚えずにはいられません。

皆さんの「続ける力」にカキツバタたちも感謝していることでしょう。お互いの労をねぎらい、来年は、今年よりさらに多くの花々がみられることを楽しみにしたいですね。皆さん、お疲れさまでした！



不定期 ・不定形発行

イデキュー NEWS

2020.9.26

NO. 1311
VOL. 33-21

天然記念物を守る活動 ボランティア20周年



拝啓 仲秋の候、貴社ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
平素から、本市の文化財保護行政につきまして、格別なる御協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。
さて、過日実施いたしました小堤西池のカキツバタ群落保護活動においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの規模を縮小した開催となりましたが、大変暑い中、大勢の方に御参加いただき予定通り作業を終了することができました。これもひとえに、皆様の御理解と御協力の賜物であったと、心から感謝いたしております。誠にありがとうございます。
今後とも、本市文化財保護行政に対して変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願いを申し上げ、簡単ではありますが書中をもって御礼の御挨拶とさせていただきます。

敬具

令和2年9月15日

株式会社 イデキュー 御中

刈谷市長 稲垣 武

↑ 昨年に続き、今年も、刈谷市長から「礼状」が届きました。